

県立特別支援学校の紹介

(特別支援学校作成資料)

- 佐賀県立盲学校
- 佐賀県立ろう学校
- 佐賀県立大和特別支援学校
- 佐賀県立金立特別支援学校
- 佐賀県立中原特別支援学校

視覚障害の特別支援学校

佐賀県立盲学校

- ・ 視覚に障害があり、見えない人、見えにくい人が対象です。
- ・ 3歳から入学でき、幼稚部、小学部、中学部、高等部があります。
- ・ 見え方や発達の段階などに応じて、きめ細やかな指導を行っています。
- ・ 寄宿舎があります。

歩行指導



学習の様子

単眼鏡



点字学習



ルーペ



目と手の協応

タブレット



鍼灸の実習



聴覚障害の特別支援学校

佐賀県立ろう学校

- 聴覚に障害があり、きこえにくさや言葉の発達に支援や配慮が必要な幼児児童生徒を対象とした学校です。
- 幼稚部（年少～）、小学部、中学部、高等部があり、きこえの状態や発達段階等に応じた、きめ細やかな指導を行っています。
 - ・小・中・高等学校に準じた学習
 - ・知的発達に配慮した教科学習や様々な教科等を合わせた学習
- 寄宿舎があります。

聴覚障害教育の特別支援学校として、保有している聴覚を最大限に活用しながら、「わかる授業」を実践し、確かな学力や日本語の読み書きの力、自ら考える力を育てます。



基礎学力の向上を目指して、児童に合った学習目標を設定し個別指導を行っている。



個別の自立活動の授業で、1学期を振り返り、「自分の強み（良さ）」について知り、積極的に生かしていこうという気持ちをもつために、カードを使って学んでいる。



自立活動の時間、自分で補聴器の管理ができるように、補聴器について気を付けることや手入れの仕方を学んでいる。



修学旅行の事前学習で、集団行動や見学先での行動の仕方、ホテルでの過ごし方などについて、学んだことをみんなで協力して広用紙にまとめている。

知的障害の特別支援学校

佐賀県立大和特別支援学校

知的能力や適応能力に遅れがみられ、特別な支援や配慮が必要な状態にある知的障害のある児童生徒を対象とした学校です。

- ・小学部、中学部、高等部があり、12年間を通じた教育を行っています。
- ・通学が困難なお子さんのための寄宿舎があります。



小学部



大和特別支援学校の特徴

たくましく自立し、積極的に社会に参加する人間の育成を教育目標に、知的障害のある児童生徒の自立と社会参加を目指して教育を行っています。

- ・知的障害のある児童生徒のための教科を学習します。
- ・各教科等を合わせた「日常生活の指導」「生活単元学習」「作業学習」といった指導形態での学習も行います。
- ・個に応じた学習内容や指導を行っています。

中学部



高等部



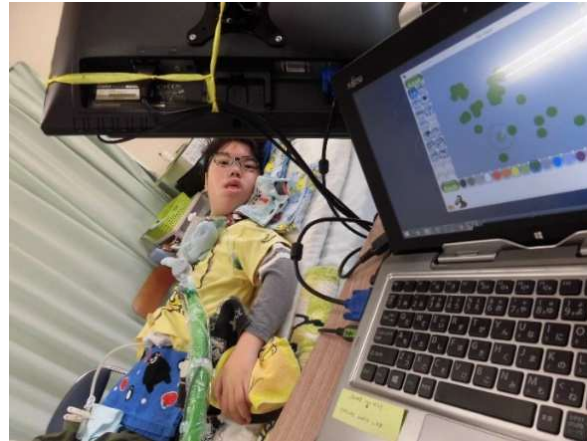
肢体不自由の特別支援学校

佐賀県立金立特別支援学校

- ・肢体不自由があり、特別な支援や配慮が必要な状態にある児童生徒を対象とした学校です。
- ・小学部、中学部、高等部があり、障害の状態や発達段階等に応じた教育課程で学習を行っています。
 - ・小・中・高等学校に準じた教育課程
 - ・知的障害に合わせた教科等を学ぶ教育課程
 - ・自立活動を主とした教育課程
 - ・家庭や病院における訪問教育課程
- ・寄宿舎があります。
- ・医療的ケアが必要な児童生徒も学んでいます。

児童生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達 の基盤を培うことを目標とする。

「自立活動」



- 「自立活動」を全ての児童生徒に指導
- 一人一人を大切にした指導

病弱の特別支援学校

佐賀県立中原特別支援学校



- ・佐賀県東部地区の特別支援教育の拠点校
（三養基郡みやき町）
- ・病弱特別支援学校として、県内の病弱・身体虚弱特別支援学級とのネットワークづくりも進めています。
- ・寄宿舎は設置していません。自宅等からの通学になります。
- ・東佐賀病院（みやき町）、若楠療育園（鳥栖市）、肥前精神医療センター（吉野ヶ里町）に入院・入所している児童生徒に訪問教育を行っています。また隣接する東佐賀病院の病棟からの通学生に対しての教育も行っています。

- 小児慢性疾患、その他の病気により、継続して医療や生活面での制限が必要な病弱の子供たちを受け入れています。病気が回復すれば、小・中学校等に戻ります。
- 一人一人の病気の状態に配慮しながら、自立と社会参加を目指し、教科学習や心身の調和的な発達の基盤を培う「自立活動」などの学習を行っています。
- ICTを活用した学習にも積極的に取り組んでいます。

